



第7回



地域との共生を求めて

高校学

一農業物

シフラク

学校を通じてWebから応募してくだされる。 最高校生 農業アクション大賞











地域のためにがんばる 農業高校生を応援します!





農業高校などの高校生たちがグループで取り組む 農や食に関する、課題研究を支援します。

地元の農家ら生産者、JA、事業所、NPO、行政機関など地域と連携した 3年間 の活動計画を募集します。



主 催:全国農業協同組合中央会、毎日新聞社

協 賛:全国農業協同組合連合会

後援:農林水産省、文部科学省、全国農業高等学校長協会、東京農業大学

応募要項は 最終ページへ

にわたる活動を支援!

3カ年度を単位にし た取り組みを募集し、 優れた活動計画の15グ ループを「認定グルー プ」として選出。活動支 援金20万円を助成しま す。さらに3年目には、 認定15グループの活動 実績を審査し、「大賞」 や「準大賞」を選んで奨 学金を贈ります。

-

--0

-0

-0

-0

-0

-0

-0

-

-0

-

-0

-0

-0

-

-0

-0

応募開始

地域と連携した農や食に関する3年間の活動計画を応募。 アイデアや計画立案を文章で提出してください。

書面審査

応募書類を元に審査。認定15グループが選ばれ、 支援金20万円が贈られます。

大賞審査

計画を実践する過程での創意工夫や試行錯誤が試され ます。公開プレゼンテーションの形で取り組みを発表。 大賞は50万円、準大賞は20万円が贈られます。

テーマは自由!

- -0 2023年度~2025年度の3年間の活動計 -0 画を策定ください。地域やJAと連携した、 -0
- 農や食に関する課題研究などの取り組みで、 -0
- テーマ・課題は自由です。クラブ活動、学科・
- -0 <mark>コースの活動を含みます。未発表・既発表を問</mark>
- -0 いません。(2022年度以前の活動実績は、
- -0 審査では参考として取り扱い、認定グループ
- -0 に選ばれた場合は支援決定後の3年間の取り -
 - 組みを評価します。学校農業クラブ大会など
 - の他事業への応募内容との重複も可能です。)



とくに、地域の農業が抱える 生産基盤の弱体化 (生産者の高齢化、減少など)を 解決する取り組みなどを募集します。



栽培技術の改善/ 農産物の品質向上



消費者交流/食育/ 地産地消







認定15グループ 2024年度までの3年間の取り組みを評価して大賞を贈ります! 2022年度 舊6回

北海道岩見沢農業高等学校

農業科学科SS班

醸造用ブドウ栽培活性化プロジェクト



埼玉県立杉戸農業高等学校

食品研究同好会 Let'sすごろく大作戦! 日光街道地産地笑御馳走 ウォークマップもやっています!



広島県立西条農業高等学校

籾殻菌床キノコ研究班 持続可能な農業の実現に向けて 水稲栽培とキノコ栽培の循環型農業



青森県立三本木農業恵拓 高等学校

産業動物研究班 オレイン酸ヒマワリ栽培で 景観改善と飼料生産の両立



愛知県立渥美農業高等学校

動物科学部



愛媛県立西条農業高等学校

Team CNF 新しい農業のカタチ!サトイモCNFが 地球にやさしく地域を笑顔に!!



岩手県立水沢農業高等学校 果樹専門分会

めんこいバナナを東北の地から 世界へ発信~低温の時期を乗り



愛知県立安城農林高等学校

プロジェクトBee

キンリョウヘンを用いて日本デ ーク(安城市)にニホンミツバチを 呼び戻そう ~目指せ、地域密着の SDGs型[Bee-Bank]の創立へ~



愛媛県立南宇和高等学校

河内晩柑救い隊 [平山軍団] 高校生がつなぐ持続的な河内晩柑栽培 -河内晩柑低樹高化プロジェクト



山形県立置賜農業高等学校

置農食愛プロジェクト 置農食愛プロジェクトが取り組む こども農園と子ども食堂の活動



京都府立農芸高等学校

農業生産科畜産流通コー 和牛でつなぐ地域の輪 一ム京都の挑戦~



福岡県立糸島農業高等学校

根っこ部 世界から 根こぶ病の 恐怖を なくす



~ミミズは最強の十壌改良マシン

栃木県立栃木農業高等学校

ゴン研究部

いでよ!!+の中のドラゴン



大阪府立園芸高等学校

農業で未来を繋げ! 高校生未来プロジェクト~ 園芸あぐり塾

~農福連携型食農教育への取り組み~



沖縄県立北部農林高等学校

熱帯農業科熱帯果樹コース -プロジェクト 目指せ!沖縄コーヒーブランド化!



大賞 への道のり!

山形県立村山産業高等学校 農業科学部





超促成栽培の 実現を目指す!

本研究班の活動は、海外進出や全国展開を目指すことが目的ではあり <mark>ません。市場調査を通して山形県民にバッチリと照準を合わせ、「サトイ</mark> <mark>モが欲しい!」と思う時期を正確に把握し、そこに提供する技術を開発す</mark> るという、地元高校生にしかできない"研究活動"であると考えています。

本プロジェクトの計画段階における目標は、①低温期に対応したサトイモの 栽培技術の確立②種芋の植え付け方法の違いが超促成栽培に与える影響の 評価③環境要因の変化がサトイモの生育に与える影響の検討でした。しか し、新型コロナウイルス感染症の影響を反映して当初の計画を変更し、「サト イモや郷土料理の芋煮を活用した加工食品の開発」についても活動しました。

> --

> ---0





• •

•

• •

•

苗づくり



定植作業



サトイモの 収穫作業



サトイモの 定植作業



収穫した サトイモの 様子



連携した 農家と共同で 定植作業

•

0 0

0

0

0



連携農家と 共同で 収穫作業



連携農家と 収穫後の 選別作業

-

-



日本一の芋煮会 フェスティバルへ参加



- 普及のためのPDCAサイクルを実行
- ●生産課題を解決する実験を実施

- ●地域農家と連携し、共同で栽培・出荷
- ●超促成栽培のサトイモを販売









◆応募締切

2023年6月30日(金)

◆募集内容

2023年度~2025年度の3カ年の活動計画。地域やJAと連携した、農や食に関する課題研究などの取り組みで、テーマ・課題は、自由。クラブ活動、学科・コースの活動を含みます。未発表・既発表は問いません。(2022年度以前の活動実績は審査では参考として扱います。学校農業クラブ大会など他事業への応募内容との重複も認めます)

◆応募資格

農業高校(農業系学科のある高校などを含む)の生徒グループ。学年横断のグループ可。3年間の活動期間中、卒業や新入に伴うグループメンバーの入れ替わりも認めます。構成人数は問いません。同一校からの応募数の制限はありません。※複数校にまたがるグループは対象外です。

◆応募方法

WEBサイト (https://www.mainichi.co.jp/event/nou-act/)の応募フォームから担当教員を通じてご応募ください。なお、応募の資料やデータについては、主催者による使用・公表を承諾するものとします。

◆審査方法

今年度認定グループの審査は審査員による提出物の審査。2年後の大賞・準大賞の審査は審査員による提出物、および公開プレゼンテーションの審査。詳細はホームページの「審査と支援」をご確認ください。

◆結果発表

- ●認定15グループは2023年9月に毎日新聞朝刊、およびホームページで発表。
- ●大賞、準大賞などは2025年11月の審査会終了後、会場にて発表。

◆表彰内容

認定グループ(2023年度): 認定15グループ/支援金20万円、認定証、副賞 大賞・準大賞(2025年度): 大賞1グループ/奨学金50万円、賞状、記念品 準大賞2グループ/奨学金20万円、賞状、記念品

◆大賞審查·表彰式

2025年11月(東京都)にて開催予定

◆審查委員

尾木 直樹さん(教育評論家、法政大学名誉教授)=審査委員長

川瀬 良子さん(タレント)

上岡 美保さん(東京農業大学副学長)

尾高 恵美さん(農林中金総合研究所主席研究員)・・・・・・ほか



詳細は 全国高校生 農業アクション大賞

「全国高校生 農業アクション大賞」運営事務局〈毎日新聞東京本社 事業本部内〉 Tel:03-3212-0190(平日10時~17時) メール:nou-act@mainichi.co.jp



このQRからも 応募出来ます/

応募に関する 問い合わせ先